

景観形成の基本理念

短文バージョン

<前文>

箕輪町の景観は、町の地形的な特徴や歴史・文化の表れであり、そこに暮らす人々の毎日の生活の積み重ねによってつくられるものです。

今日まで、先人達によってわたしたちの町には多くの美しい景観がつけられ、また守られてきました。

わたしたちは、それぞれの立場からこの美しい箕輪町の景観を守るとともに、よりよい景観を育てていくことを目指していきたくと考えています。

また、わたしたちは、それぞれの立場が違って、目指すべき景観のあり方は同じであると考えています。

そこで、本計画に次の基本理念を定め、町の景観形成を進めていきます。

基本理念

1. 優れた眺望や四季折々の山並み、田園といった景観を町の魅力として再認識します。
2. 景観を構成する地域の資源に磨きをかけ、町の魅力をさらに増していきます。
3. 景観の背景にある歴史や文化を学び、子ども達に伝えると共に様々な世代で共有します。
4. 良好な景観を形成するために、景観活動に関わる人づくりをしていきます。
5. それぞれの立場から、同一の価値観を目指すなど、景観に関わる新たな協力関係を作り上げることで、地域の活性化を促進します。
6. “ふるさと”を感じるような良好な景観形成により、住み続けたい町、訪れたい町、帰ってきたくなる町をつくることを目指します。

・長文バージョン

私たちの町には、高台から眺める雄大な山並みや四季折々の美しさを見せる田園、水の恵みを感じさせる河川や湧水、昔ながらの情緒を感じさせる集落内の通りなど、先人達によりつくられた多くの美しい景観があります。

また、今日では沿道や農地、水辺などへの花木の植栽や、眺望を楽しむための場所の整備など、意欲ある人々によって新たな景観づくりも行われています。

私たちはこの美しい景観を守り、育て、創出することにより町の魅力をさらに高めるとともに、その背景にある自然や歴史、文化を学び、その大切さを子ども達へ伝え、様々な世代間で共有し、景観に関わる人づくりをしていきます。

また、景観に関わるこれまでの協力関係を維持しながら、新たな協力関係を作り上げ、それぞれの立場が連携することによって、良好な景観形成を進め、地域の活性化を促進していきます。

私たちは“ふるさと”を感じるような良好な景観づくりを通して、いつまでも住み続けたい町、何度でも訪れたい町、帰ってきたくなる町をつくることを目指します。

私たちは、以上のことを本計画の基本理念として定め、良好な景観形成を進めていきます。

委員の皆様からの基本理念の案

山口委員：

「みのわの町を美しく豊かで安全安心で暮らせる、又、地域の明治維新時代に残された、歴史資源と文化を後世に残していくため、田園と自然森林の調和のとれた景観をつくる」

大槻委員：

「四季折々の美しい自然と共に暮らしている私たち。
縄文の古代から続くこの町で、親から子へと受け継がれてきた文化、親から子へと引き継がれてきた仕事が、町の景観を作っています。
山林も田園も河川も市街地や人の住んでいる場所も、すべて私たちひとりひとりの財産です。これからも住み続けたい町、訪れたい町を作りたい」

澤上委員：

「恵まれた豊かな自然環境を知り、歴史・文化・風土を大切に育てる思いを共有する多くの方々の絆を強くして、誇りと名誉をもって活動する景観づくりを目指します」